

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



糖尿病・内分泌内科の紹介

糖尿病・内分泌内科 部長 **紺屋 浩之** こんや ひろゆき



当科は 2009 年 4 月に私が赴任してから発足し、毎年のように若手医師が入れ替わって新陳代謝しており、私だけが早 18 年目の継続勤務で、他の 4 人は兵庫医科大学病院から派遣の若手専攻医（フレッシュな面々）といった構成です。

入院では、当科医師は糖尿病の患者さんや内分泌代謝（主に甲状腺、電解質異常）の患者さんを担当させていただくとともに、内科に入院してくる患者さんを輪番制（内科各科が当番で担当医を決める）で受け持っており、肺炎や尿路感染といった感染症や、ときには心不全等の循環器疾患、腹痛、胆嚢炎等の消化器疾患、TIA（一過性脳虚血発作）、脳梗塞、認知症等の脳神経疾患、間質性肺炎、COPD（慢性閉塞性肺疾患）等の呼吸器疾患、貧血、DIC（播種性血管内凝固）等の血液疾患、進行がん等の緩和ケアを要する疾患、せん妄等の幅広い疾患の患者さんを各科の専門医とともに担当しています。

外来では主として糖尿病患者さんを診察させていただくとともに、甲状腺疾患や脂質異常症、高血圧といった患者さん、さらに最近保険適応となった GIP/GLP-1 受容体作動薬のゼップバウンド（成分は糖尿病適応のマンジャロと同じ）、GLP-1 受容体作動薬のウゴビー（成分は糖尿病適応のオゼンピックと同じ）といった注射を必要とする肥満症患者さんの診察を担当しています。

新規の糖尿病治療薬の中で SGLT2 阻害薬は 2 型糖尿病だけでなく、心不全、慢性腎臓病にも有用であり、上述の GIP/GLP-1 受容体作動薬、GLP-1 受容体作動薬はともに体重減少効果だけでなく、2 型糖尿病の慢性

合併症に有用です。また、週 1 回持効型インスリンのアウイクリ（インスリン イコデク）も発売され、血糖自己測定も従来の測定器だけでなく、FreeStyle リブレ 2（1 分ごとに皮下のグルコース値を Bluetooth で自動送信し、リアルタイムで測定・確認できる持続血糖測定（CGM）デバイス）が使用でき、さらに糖尿病治療の選択肢は広がっています。

10 年以上当科に通院されている患者さんもうらっしゃいますので、糖尿病合併症（**神経障害**、**網膜（眼）症**、**腎症**；**しめじ**で患者さんに覚えてもらっています）や心血管合併症（**足壊疽**、**脳卒中**、**狭心症**・**心筋梗塞**；**えのき**で患者さんに覚えてもらっています）や感染症、がん、認知症といった高齢者に多い合併症には特に注意して、若手の先生とともに診察させていただいています。

今後とも糖尿病・内分泌疾患の診療を中心として、地域の皆さまの健康を支えてまいります。



市立芦屋病院ブルーライト

糖尿病チームって何でしょうか？

糖尿病・内分泌内科 部長 こんや ひろゆき 紺屋 浩之

糖尿病チームとは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、視能訓練士などの多職種が集まり、専門的な知識を活かして患者さんの療養生活をサポートする医療チームです。血糖コントロールや生活習慣の改善を患者さんと一緒に考え、合併症の予防や生活の質の向上を目指します。



糖尿病チーム

糖尿病チームの専門スタッフの役割は以下の通りです。

- 医師**：治療方針の決定や、薬・インスリンの調整を行います。
- 看護師**：療養生活の相談に乗り、インスリン注射や自己血糖測定器(SMBG)の手技、フットケアなどの指導を行います。
- 管理栄養士**：無理なく続けられ、食べる楽しみも感じられる食事療法を提案・アドバイスします。
- 薬剤師**：処方薬の正しい使い方や作用・副作用について説明し、安全な薬物療法をサポートします。
- 臨床検査技師**：検査値の適正な解釈に基づく患者指導、自己血糖測定器(SMBG)の手技やFreeStyle リブレ 2 装着の指導、心血管疾患やMASH(代謝機能障害関連脂肪性肝炎)等の合併症リスクの評価として、主にABI・PWV(足関節上腕血圧比/脈波伝播速度)、心電図、エコー(心臓、頸動脈、腹部)などの生理機能検査を実施します。
- 理学療法士**：個別評価に基づき、ウォーキングやスクワットなど、体に負担をかけず安全に継続できる運動メニュー(有酸素運動と筋力トレーニングの組み合わせ)を指導します。

糖尿病は長期的な付き合いが必要になる病気です。そのため、多職種が連携し、食事・運動・薬といった生活全体をチームで支える体制が重要とされています。

当チームでは病棟での週1回の病棟カンファレンス、外来での院内の他科(眼科、循環器内科、脳神経内科、整形外科など)と連携して合併症の早期発見・治療を行っています。

フットケア(足の血流や感覚を評価し、神経障害や血行不良による足病変(潰瘍や壊疽など)や下肢切断を防ぐためのケア)や療養指導にかかる「糖尿病合併症管理料」や糖尿病性腎症の進行を防ぐため、医師・看護師・管理栄養士が連携した専門的な生活・栄養指導にかかる「糖尿病透析予防指導管理料」の施設基準も取得していますので、予約が必要となりますが、フットケア外来、糖尿病透析予防指導を受けられます。糖尿病治療について、具体的にどのようなお悩み(食事について、薬について、検査値についてなど)をお持ちでしょうか？それに応じてさらに詳しい情報や対策をお伝えできますので、遠慮なくお声がけください。よろしくお願いします。



眼科の紹介

眼科 はしむら とも
橋村 朋

当科は大阪医科薬科大学から3名の非常勤医師が派遣され、外来診療と手術を行っています。診療内容は白内障、緑内障、糖尿病網膜症、ドライアイなど多岐にわたっています。

手術は主に白内障手術を行っています。より専門的な治療が必要な患者さんには、近隣の医療機関を紹介しています。

白内障

主に加齢により水晶体（カメラのレンズにあたる部分）が濁ってくる病気で、かすみや眩しさ、視力低下を引き起こします。見えにくくなり、日常生活や運動などが不自由になった場合、手術の適応になります。

手術では水晶体の濁りを取り除き、人工の眼内レンズを挿入します。局所麻酔で15～20分ほどの手術です。当院では日帰りや1泊、または2泊の入院にて白内障手術を行っています。保険適応外の多焦点レンズは取り扱いがありませんが、保険適応内の多焦点レンズ（遠くから中間、若しくは中間から手元が見えるもの）は取り扱っています。

緑内障

視神経が徐々に障害され、視野（見える範囲）が狭くなってくる病気です。日本人の失明原因の第1位です。眼圧を下げることで進行を抑えることができます。40歳以上の方で20人に1人いると言われており、眼圧は正常範囲内でも発症する方が多いことが分かっています。

初期の自覚症状は乏しいため、早期発見・早期治療が重要です。40歳以上の方、血縁者に緑内障の方がいたり、強い近視があったりする場合はリスクが高いため受診をおすすめします。視神経の厚みを測定する検査や視野検査で診断し、点眼やレーザー治療、手術などにより眼圧を下げる治療を行っています。

糖尿病網膜症

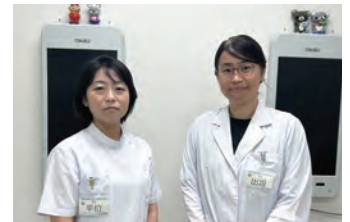
糖尿病によって網膜の血管が傷害される病気です。網膜出血や浮腫などが起こり、進行すると硝子体出血や網膜剥離を引き起こし、失明する可能性もあります。進行するまでは自覚症状に乏しく、糖尿病がある方は定期的な眼科受診が必要です。蛍光眼底造影検査を行い、必要に応じてレーザー治療を行うことで進行を予防できることがあります。状況によっては硝子体内注射が必要になることもあり、その場合は近隣の医療機関へご紹介しています。

診察では、できる限り患者さんの不安や心配を取り除けるよう、丁寧で分かりやすい説明を心掛けています。

眼のことでお困りでしたら、どうぞお気軽に受診してください。



中央：橋村医師／左：視能訓練士 樹田／右：視能訓練士 井藤



左：平位医師／右：出垣医師

あしや日曜健康診断 ～年に一度の健康診断は受けましたか？～

日時：令和8年11月1日（日） 午前9時～午前11時30分 場所：市立芦屋病院外来棟3階

がん検診

肺がん
大腸がん
子宮頸がん
前立腺がん
乳がん
(エコー・マンモグラフィー)

BNP
胸部CT
腹部内臓脂肪測定
抗ピロリ抗体
HPV
婦人科超音波
腹部超音波検査
骨密度
睡眠時無呼吸
肝炎ウイルス
甲状腺
リウマチ

予防接種

子宮頸がん予防(HPV)ワクチン

※芦屋市の検診無料クーポン券を利用できます。

対象者・料金等については、当院ホームページをご覧ください。平日（月曜日～金曜日）午後1時～午後4時30分までにお問い合わせください。

※お申し込みは10月23日までお願いします。

事前予約制

TEL：0797-31-2156

<https://ashiya-hosp.com/dockkenshin/sunday.html>



特定健診

特定健康診査
後期高齢者医療健康診査

その他検査

腫瘍マーカー
頸動脈超音波

地域のみなさまとつながる一日

あしや ホスピタルフェスタ 2026

11月15日(日) 12時~16時

会場:市立芦屋病院

入場無料 事前申込不要

見て、聞いて、体験して、病院をもっと身近に

知る
健康フォーラム、健康チェック(骨密度測定、ペジタブルチェックなど)、高齢者ほっと相談 など

体験する
腹腔鏡手術体験、調剤体験、看護服・白衣試着体験、救急車乗車体験 など

楽しむ
ほのぼのコンサート
チャリティーブース(ミニゲーム)
他にも楽しい催しを予定

当日は「芦屋セントマリアクリニック」~「芦屋病院」間
病院バスを臨時運行しています

※院内ではマスクの着用をお願いします

問い合わせ先
芦屋病院経営企画課 Tel.0797-31-2156(代)

詳しくは
ホームページへ▼

2026年度下半期

芦屋病院公開講座

●時間:午後2時~3時30分 ●定員:90人 ●受講料:無料

日時	場所	内容	講師
10月10日(土)	芦屋 市民センター 401室	出張!糖尿病教室	糖尿病・内分泌内科 紺屋 浩之 医師 糖尿病チーム
12月12日(土)		AYA世代のがんをどう乗り切るか	産婦人科 上浦 祥司 医師
2027年 1月 9日(土)	芦屋 市民センター 401室	外科疾患	外科 野呂 浩史 医師
2027年 2月13日(土)		肝疾患について	総合内科・消化器内科 白井 健郎 医師
2027年 3月13日(土)		高齢者の転倒について	リハビリテーション科 川村 直生 理学療法士

お問い合わせ先/芦屋市立公民館 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 (Tel.0797-35-0700)

市立芦屋病院 ご案内

交通案内

JR芦屋駅から

- タクシー 約5分
- バス 2番のりば 約15分
- 徒歩 約30分

阪急芦屋川駅から

- タクシー 約5分
- バス 2番のりば 約20分
4番のりば 約15分
※但し15時台まで
- 徒歩 約35分

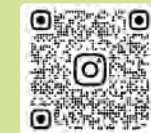
※病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

〈病院理念〉

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

〈基本理念〉

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します市立芦屋病院
公式 Instagram
始めました!!

日本医療機能評価機構 認定施設(3rd G: Ver. 3.0 一般病院2 緩和ケア病院)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

H P: <https://www.ashiya-hosp.com/>